

証券コード：4733



奉行通信

第37期 第2四半期ご報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日



 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「**勘定奉行**」をはじめ、
企業に必要な基幹業務システム「**奉行シリーズ**」の
開発、販売及び保守・導入指導等を行っている**パッケージソフトウェアメーカー**です。

「奉行シリーズ」の製品・サービスの特長

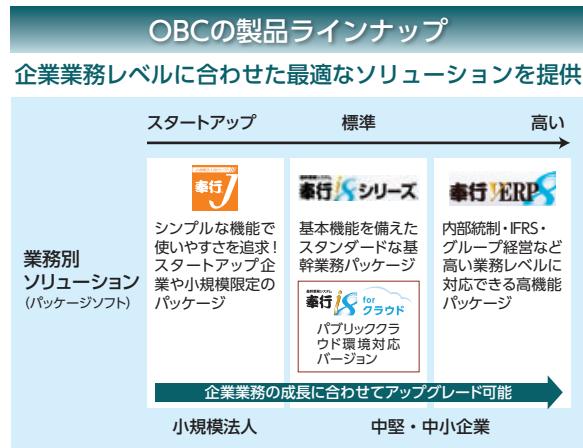
1 中堅・中規模・小規模企業及び
企業業務にフォーカス

2 お客様の企業業務に
最適な製品ラインナップ

3 経験豊富なパートナー様と
共に**最高の支援**

4 顧客満足度を追求する
徹底したサポート

5 初期投資を無駄にしない
アップグレード制度



安心と実績の製品・サービス、信頼できる確かな技術で
お客様のニーズにお応えしてまいります。

導入シェアNo.1の奉行シリーズ 導入実績 **56万社** 突破

※平成27年3月現在

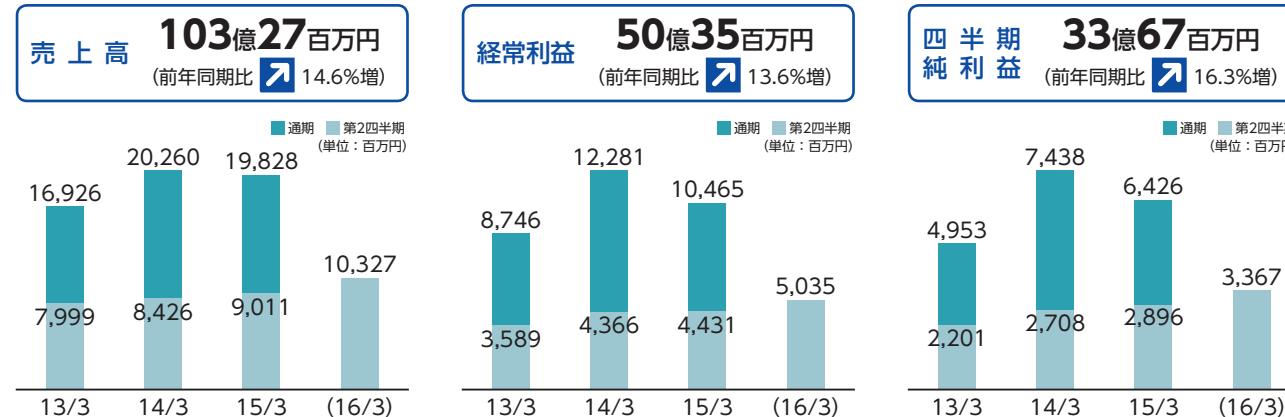
株主の皆様へ



代表取締役社長 和田 成史

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当第2四半期累計期間のわが国の経済状況は依然として不透明な状況が続いておりますが、当社が属する情報サービス産業においては、早急に対策を講じる必要がある法改正も多く、新たな需要も生まれております。このような経営環境の中、当社では、特にマイナンバー制度において製品の機能アップと新しいクラウドサービスを提供するなど、セミナーや営業活動を通じて、企業が安全かつ効率的に管理できる仕組みをいち早く紹介してまいりました。これからも当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、市場環境の大きな変化に即応したパッケージ開発と、パートナー企業と足並みをそろえた手厚いサポート体制で、お客様に常に役立つサービスをお届けしてまいります。株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

当第2四半期の業績



当第2四半期のポイント

- ◎全国主要都市で「奉行カンファレンス」を販売パートナー企業向けに開催。当社の販売戦略等の情報共有を図ることで、顧客のニーズに合致したサービス提案を実現しました。
- ◎マイナンバー制度の実務に対応した製品への需要の高まりでプロダクト売上が増加した結果、売上高は前年同期比14.6%増となりました。
- ◎営業利益、経常利益および四半期純利益が増益となった主な要因は、総じて売上高の増収が寄与したことによるものです。

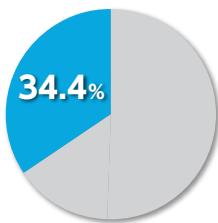
事業別の状況

ソリューションテクノロジー



◆当第2四半期の状況

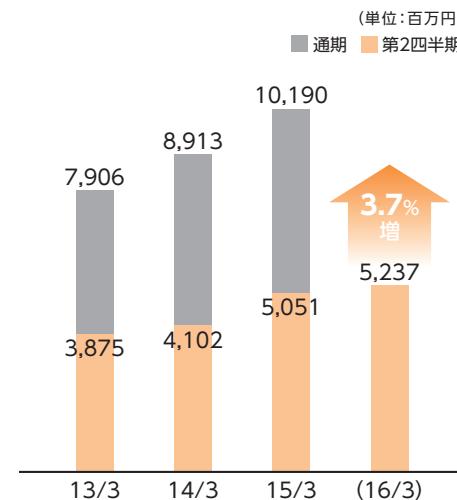
ソリューションテクノロジー部門の売上高は、前年同期比36.7%増の35億48百万円となりました。特に第2四半期に入ってから、マイナンバー制度の実務に対応した製品への需要が高まり、売上増となりました。



❖事業内容

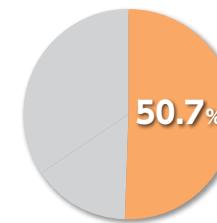
中堅・中小企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするパッケージソフトを提供。企業規模やニーズに合わせて豊富なラインナップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当部門の売上高に含まれます。当社のパッケージソフトは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

サービス



◆当第2四半期の状況

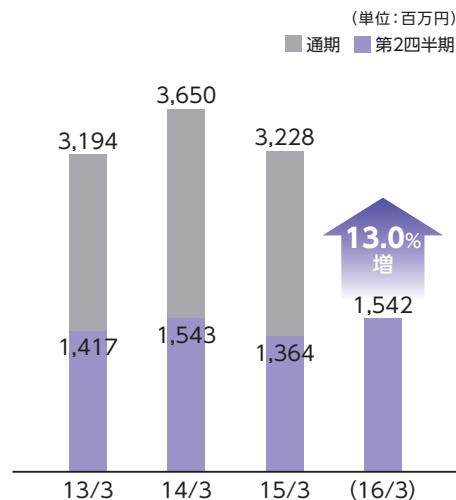
サービス部門の売上高は、前年同期比3.7%増の52億37百万円となりました。環境の変化への対応に伴う奉行保守契約料が171百万円、インストラクター指導料収入が25百万円増加しました。



❖事業内容

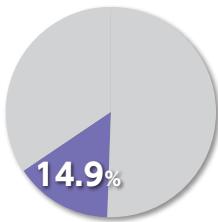
システム導入後のユーザーサポートを目的とした「スクール」や「訪問指導」、「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」の提供など、お客様満足度の向上のための業務支援サービス事業を展開。お客様目線に立ったきめ細かなトータルサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

関連製品



◆当第2四半期の状況

関連製品部門の売上高は、前年同期比13.0%増の15億42百万円となりました。奉行V ERPを中心としたバージョンアップ需要の増加に伴い奉行連動ソリューション売上が221百万円増加しました。



❖事業内容

「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当部門の売上高に含まれています。

通期の見通し

今後の傾向としましては、マイナンバー制度およびストレスチェックの2大法改正に伴う需要がますます増加し、そのための製品開発およびサポートが一層必要とされると分析しております。このような状況の中、昨年に引き続き今年も開催しております「奉行フォーラム」の会場を大幅に増やしてサービスのご提案および販売促進を積極的に進めるなど、需要を確実に業績に連動させるべく、当社は創業以来の「顧客第一主義」の理念のもと、顧客ニーズに合った保守サービスの充実、製品開発や新たな需要が見込まれるクラウド運用の提案等に努めてまいります。

2016年3月期業績予想

(単位:百万円)

	金額	前期比
売上高	23,000	16.0%増
営業利益	10,200	19.2%増
経常利益	11,700	11.8%増
当期純利益	7,800	21.4%増

あなたの知らない
業務効率化が
ここにあります

「奉行フォーラム 2015」開催！

2大改正直前対策！

マイナンバー

ストレスチェック

OMSS+™ OBC membership support & service
奉行10シリーズ × 業務サービス

OBCでは、10月2日より全国各地19カ所で『奉行フォーラム2015』を開催いたしました。今回の最大の特徴である「マイナンバー」と「ストレスチェック」の2大改正に伴う直前対策を柱とし、幅広いテーマ別の対策セミナー、パッケージとサービスを一堂にご紹介する大展示会、さらに各分野の専門家がアドバイスする個別の無料相談会を設けました。

特に「マイナンバー」対策では、すべての企業のマイナンバー対応を標準化し、業務対応とリスク対応を両立できるOBC独自のクラウドサービス『OMSS+マイナンバー収集・保管サービス』を提案。また「ストレスチェック」対策では、必要な対策を一括して解決できる

『OMSS+ストレスチェックサービス』など、万全の備えを体感できる内容となっています。



「日経コンピュータ
顧客満足度調査」の
「ERPパッケージ部門」で、

OBCのERP製品が 2年連続第1位を獲得！

この度OBCは、おかげさまで日経コンピュータ主催の顧客満足度調査・ERPパッケージ部門にて、前年度に続いて第1位を獲得することができました。判断基準項目のうち、「導入や初期設定の容易さ」や「システム構築の容易さ」が、それぞれ平均より10ポイント以上高いスコアを得るなど、さまざまな項目で高い評価をいただくことができました。これも幅広くお客様にご支持いただいた結果と認識し感謝申し上げます。

当社は、創業以来の“顧客第一主義”を貫き、変化の激しいビジネス環境の中で、お客様の声に常に耳を傾けることで顧客の問題解決に必要なことを先読みして製品開発・サポートに反映する製品の「変化力」の向上に努めております。今後とも、こうした取り組みを積み重ね、お客様の満足度の向上に努めてまいります。

顧客満足度調査
2015-2016
日経コンピュータ
ERPパッケージ部門
日経コンピュータ2015年9月3日号
顧客満足度調査2015-2016
2年連続(通算9回※)ERPパッケージ部門1位
※受賞年2005年～2011年及び2014年

テーマ別セミナー

制度改正の最新情報、業務改善のヒント、クラウドの活用など、専門講師による基調講演や奉行シリーズの制度改正対応をご紹介します。



大展示会

2大制度改正はもちろん、部門別の問題解決、最新のITテーマまで、OBCの最新“パッケージ”&“サービス”がその目でご確認いただけます。



システム相談会

各専門家が2大制度改正の対策やその他の“パッケージ”&“サービス”導入のすべてに関して、個別にお客様のご相談にお応えいたします。



個別
相談

第2四半期貸借対照表 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第36期末 平成27年3月31日現在	第37期 第2四半期末 平成27年9月30日現在
資産の部		
流動資産	65,428,955	68,834,510
固定資産	39,778,152	35,230,680
有形固定資産	363,886	348,762
無形固定資産	503,404	502,494
投資その他の資産	38,910,862	34,379,423
資産合計	105,207,108	104,065,191
負債の部		
流動負債	10,537,590	10,333,752
固定負債	3,674,811	2,712,405
負債合計	14,212,401	13,046,158
純資産の部		
株主資本	80,630,730	82,945,920
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	56,510,476	58,825,808
自己株式	△5,348,014	△5,348,156
評価・換算差額等	10,363,977	8,073,112
その他有価証券評価差額金	10,363,977	8,073,112
純資産合計	90,994,707	91,019,033
負債純資産合計	105,207,108	104,065,191

CHECK POINT

1 純資産

純資産合計は910億19百万円となり、前事業年度に比べ24百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は87.5%となりました。

第2四半期損益計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	前第2四半期 累計期間 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
2 売上高	9,011,448	10,327,340
売上原価	1,352,587	1,556,221
売上総利益	7,658,861	8,771,119
販売費及び一般管理費	4,115,911	4,543,726
3 営業利益	3,542,949	4,227,392
営業外収益	919,140	810,915
営業外費用	30,720	2,360
3 経常利益	4,431,370	5,035,947
特別利益	68,438	-
特別損失	-	431
税引前四半期純利益	4,499,808	5,035,516
法人税等	1,603,282	1,667,879
法人税、住民税及び事業税	1,301,194	1,607,307
法人税等調整額	302,087	60,571
3 四半期純利益	2,896,526	3,367,636

CHECK POINT

2 売上高

マイナンバー制度の実務に対応した製品への需要が高まり、プロダクト売上が増加したことにより、前年同期比（以下同）14.6%の増加となりました。

3 営業利益・経常利益・四半期純利益

営業利益（同19.3%増）、経常利益（同13.6%増）及び四半期純利益（同16.3%増）の主な要因は、総じて売上高が寄与したことによるものです。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

主なプラス要因は、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少額等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額等によるものです。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

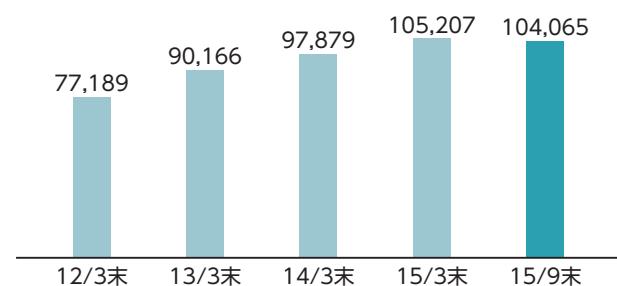
主な要因は、投資有価証券の売却等によるものです。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

主な要因は、配当金の支払額等によるものです。

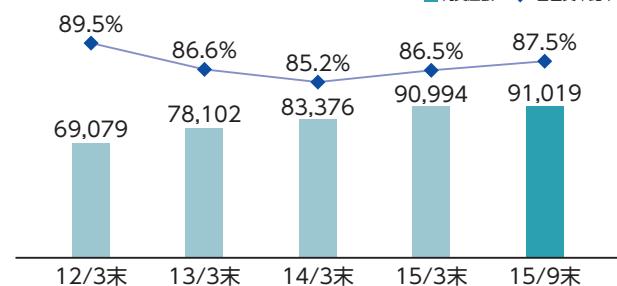
総資産額

(単位:百万円)



純資産額/自己資本比率

(単位:百万円)



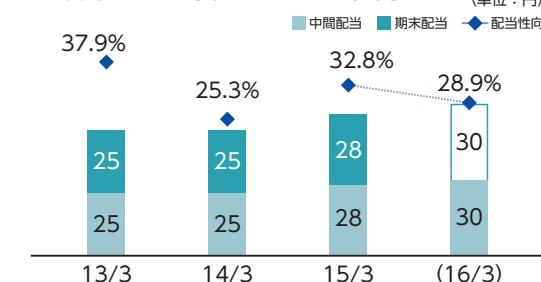
第2四半期キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	前第2四半期 累計期間 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,254,011	4,485,934
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	269,686	733,688
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△939,593	△1,052,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,584,104	4,167,119
現金及び現金同等物の期首残高	53,434,601	58,082,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,018,706	62,249,561

中間配当/期末配当/配当性向

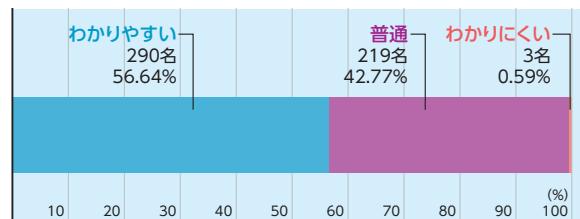
(単位:円)



2013年10月1日付で1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しました。過去分につきましては遡及修正した金額を表示しております。

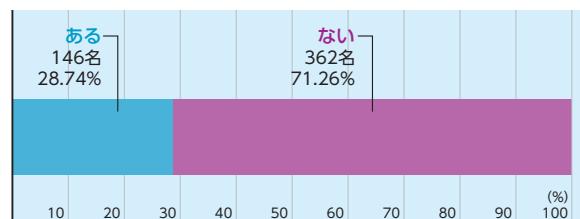
「第36期奉行通信」で株主様へアンケートを実施させていただきました。株主数4,821名のうち530名よりご回答を頂戴しました。株主様へ御礼を申し上げますとともに、その集計結果のご報告をさせていただきます。

Q 当社の奉行通信について、わかりやすさはいかがですか。



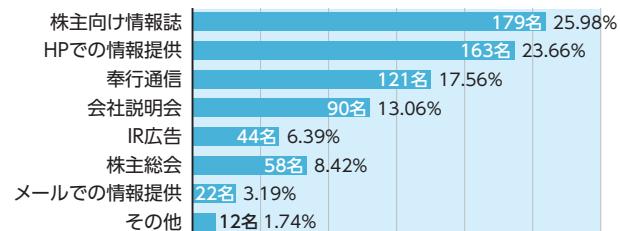
99%以上の株主様から「わかりやすい」・「普通」とご回答いただき、特にマイナンバー制度の特集が好評でした。今後もよりわかりやすい誌面を提供してまいります。

Q 当社のIRサイトを見たことがありますか。



ご覧になったことのある方のご意見では、デザイン・内容的に良い評価をいただいております。タイムリーな情報提供を行っておりますので、ぜひ一度ご覧ください。
(会社・IR情報 <http://www.obc.co.jp/corporate/>)

Q 当社のIR活動について特に充実を希望することは何ですか。



多くの株主様から「株主向け情報誌」・「HPでの情報提供」の充実を希望されるとのご意見をいただきました。「奉行通信」も情報提供のツールとして根強い人気がありますので、より充実した誌面作りに努めてまいります。

● その他ご意見のご紹介

- 話題のマイナンバー制度について、特集の説明がわかりやすく、参考になりました。OBCの充実した支援サービスにも期待しています。
- 将来性を見込んでの投資であり、今後を楽しみにしています。これからも業績向上を目指してください。

株式の状況

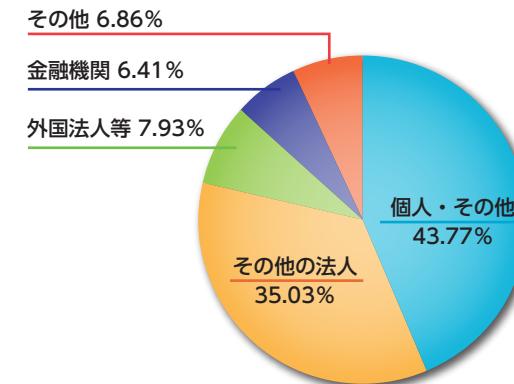
発行可能株式総数	161,408,000株
発行済株式の総数	40,352,000株
株主数	2,817名

大株主 (上位5名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	13,589	36.16
和田成史	11,556	30.75
和田弘子	2,616	6.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	725	1.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	507	1.35

※持株比率は自己株式(2,769千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



企業プロフィール

会社概況	
商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月12日
資本金	10,519,000千円
従業員数	692名

役員	
取締役会長	野田 順 弘
代表取締役社長	和田 成 史
専務取締役	和田 弘 子
常務取締役	中山 茂
取締役	大原 泉
取締役	木村 博
取締役	橘 昇 一
取締役	伊東 千 秋
常勤監査役	黒 岡 成 一
監査役	高 橋 郁 雄
監査役	加 納 博 史

主要事業拠点	
本社/東京支店	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-7 NORE伏見ビル7F

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

- 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について
株主様の口座がある証券会社へお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、上記の電話照会先をお願いいたします。
- 「配当金計算書」について
配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

株主様アンケートがwebからも可能に

株主様アンケートがwebからも簡単にやっていただけるようになりました。
お寄せいただいたご意見は、今後の会社運営の参考として大切に扱わせていただきます。ぜひご利用ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

e-株主リサーチ(オンライン)で、ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます(ハガキでご回答いただいた方は対象とはなりません)

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4733

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

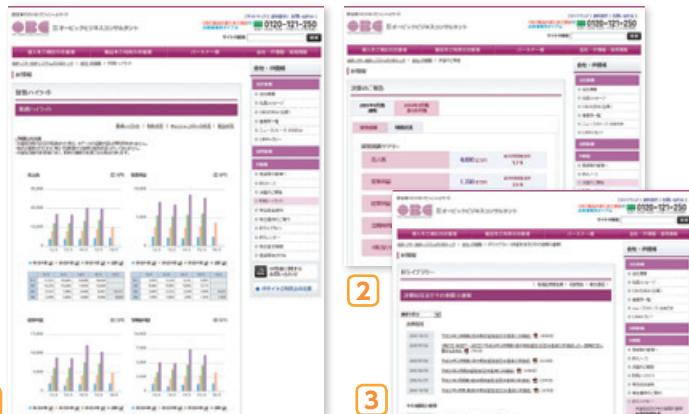


株式
会社

オービックビジネスコンサルタント

<http://www.obc.co.jp/>

IRページが充実！当社IRサイトのご案内



1

1 財務ハイライト <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>
四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。

2 決算のご報告 <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report.html>
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。

3 IRライブラリー <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>
有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。